

☆RIM ASIA PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 6912 April 01, 2015

Copyright (c) 2015 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

—Tokyo, 20:00 JST 01 Apr2015

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

◎編集部からのお知らせ

○リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

: 101.85 (↓0.51)

1日のレックス22は小幅続落。一部国内指標は上昇したものの、すべての輸入指標が弱含んだことで下落した。

ORISCO、「エネルギースポット市場のテキストブック」を刊行

日本を含むアジア市場で行われているエネルギーのスポット取引を初心者にもわかりやすく解説。わかりやすく、シンプルな解説で、短時間で市場の概要を理解が可能です。お問い合わせ、申し込みは下記メールアドレス、WEB サイトから。info@ris-co.jp <http://ris-co.jp/booklet/>

【リムレポートサンプル】 ※レポート名をクリックすると、各レポートの見本にジャンプします。

サンプルは本日付けではございません。あらかじめご了承ください。

[原油・コンデンセート](#) [LNG](#) [バンカー](#) [ジャパン石油製品](#) [ローリーラック](#)

[石油化学](#) [Rim Data File](#) [石油化学データ](#) [マーケットニュース](#) [LPG](#) [電力](#)

◎FOB SINGAPORE CARGOES (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)

		Physical	Premium
Mogas 97RON	-	72.25- 72.35 -	5.20/ 5.30*
95RON	-	69.95- 70.05 -	2.90/ 3.00*
92RON	-	67.00- 67.10 -	0.60/ 0.70*
Naphtha	-	55.25- 55.35 -	-0.05/ 0.05
Jet/Kerosene	-	67.70- 67.80 -	0.20/ 0.30
Gasoil 0.001%S	-	70.30- 70.40 -	1.80/ 1.90
Gasoil 0.05%S	-	68.10- 68.20 -	-0.40/ -0.30
Gasoil 0.5%S	+	67.60- 67.70 +	-0.90/ -0.80
FO 180cst 3.5%S	-	316.50-317.50 -	-0.50/ 0.50
FO 380cst 3.5%S	-	304.25-305.25 -	-2.25/ -1.25

*Premium to FOB Singapore Mogas 92RON. 92RON Physical price does not include Premiums.

◎SINGAPORE PAPER SWAPS (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)

	Apr	May	Jun
Naphtha	- 55.25- 55.35 -	- 54.20- 54.30 -	- 53.50- 53.60 -
Jet	- 67.45- 67.55 -	- 67.95- 68.05 -	- 68.55- 68.65 -
Regrade	- -1.05/ -0.95 -	- -0.50/ -0.40 -	- -0.10/ 0.00
Gasoil 0.05%S	- 68.45- 68.55 -	- 68.40- 68.50 -	- 68.60- 68.70 -
FO 180cst 3.5%S	- 316.75-317.25 -	- 317.00-317.50 -	- 318.25-318.75
FO 380cst 3.5%S	- 306.25-306.75 -	- 308.00-308.50 -	- 309.75-310.25

◎SINGAPORE CRACK MARGINS (Against Dubai Crude Oil, in \$/bbl)

	Apr	May	Jun
Naphtha	1.70	0.01	-1.36
Jet	13.90	13.76	13.69
Gasoil	14.90	14.21	13.74
FO 180cst	-4.83	-5.43	-5.91
FO 380cst	-6.45	-6.82	-7.22

◎FOB SOUTH KOREA CARGOES (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)

	MR Cargoes	Premium
Mogas 92RON	- 66.25- 66.45 -	-0.80/ -0.60*
Mogas 92RON (Blending)	- 67.35- 67.55 -	0.30/ 0.50*
Jet/Kerosene	- 66.90- 67.00 -	-0.60/ -0.50
Gasoil 0.001%S	- 68.55- 68.65 -	0.05/ 0.15
Gasoil 0.05%S	- 67.40- 67.50 -	-1.10/ -1.00
Gasoil 0.2%S	- 65.80- 65.90 -	-2.70/ -2.60
Gasoil 0.5%S	- 65.40- 65.50 -	-3.10/ -3.00
FO 380cst 3.5%S	- 308.50- 309.50 -	2.00/ 3.00
LSFO 0.3%S	- 372.00- 382.00 -	55.00/ 65.00***

	SR Cargoes	Premium	CFR Japan Parity#
Mogas 91RON	- 67.95- 68.15 -	0.90/ 1.10*	57,912
Kerosene	- 69.00- 69.50 -	1.50/ 2.00	58,237
Gasoil 0.001%S	- 69.00- 69.10 -	0.50/ 0.60	58,489
AFO	- 66.30- 66.50 -	-2.20/ -2.00**	53,183
LSAFO	- 66.90- 67.10 -	-1.60/ -1.40**	53,639
LSFO 0.3%S	- 387.00- 397.00 -	70.00/ 80.00***	

*Premium to FOB Singapore Mogas 92RON

**Premium to FOB Singapore Gasoil 0.05%S

***Premium in density at 0.95



in Yen/kl, Basis Nagoya

SR Clean Tanker Freight Rates (\$/bbl)

Korea to Tomakomai	4.00-4.20	Korea to Keihin	3.70- 3.90
Korea to Nagoya	3.40-3.60	Korea to Kanmon	3.00- 3.20

©FOB TAIWAN CARGOES (in \$/bbl)

MR Cargoes				-Premium-
Mogas 93RON	-	68.05-	68.25 -	1.00/ 1.20
Jet/Kerosene	-	67.15-	67.25 -	-0.35/ -0.25
Gasoil 0.001%S	-	68.75-	68.85 -	0.25/ 0.35
Gasoil 0.05%S	-	67.75-	67.85 -	-0.75/ -0.65
Gasoil 0.2%S	-	66.10-	66.20 -	-2.40/ -2.30
Gasoil 0.5%S	-	65.80-	65.90 -	-2.70/ -2.60

©CFR CHINA CARGOES

			(FO in \$/mt, Others in \$/bbl)	(Yuan/mt)	(Yuan/mt)
			-Premium-	-Import Cost-	-Domestic-
NORTH CHINA					
FO M100 (RUSSIA)	-	384.00-385.00 -	67.00/68.00	4,216	4,100-4,150
Mogas 93RON***	-	68.20- 68.40 -	1.15/ 1.35	6,651	7,200-7,250
Gasoil 0.001%S*	-	70.55- 70.65 -	2.05/ 2.15	5,515	5,450-5,500
EAST CHINA					
Mogas 93RON***	-	67.60- 67.80 -	0.55/ 0.75	6,614	6,800-6,850
Gasoil 0.001%S*	-	69.95- 70.05 -	1.45/ 1.55	5,482	5,200-5,250 #
SOUTH CHINA					
Mogas 92RON***	-	67.95- 68.15 -	0.90/ 1.10	6,635	6,900-6,950
Gasoil 0.001%S*	-	70.45- 70.55 -	1.95/ 2.05	5,509	5,050-5,100 #
FO 380cst 3.5%S**	-	319.50-320.50 -	13.00/14.00	3,748	3,100-3,150 ##

--Exchange rate (MIDDLE Yuan/\$ as of Apr 01) 6.1434

***Yuan/mt prices for Mogas include 1% duty, 17% value added tax and Yuan 2,082/mt consumption tax. Domestic price for Mogas in South China is for 92RON, 0.001%S grade.

*Yuan/mt prices for Gasoil include 1% duty, 17% value added tax and Yuan 1,428/mt consumption tax.

**Yuan/mt prices for FO include 1% duty, 17% value added tax and Yuan 1,218/mt consumption tax.

China gasoil Domestic prices are of 0.005%S grade.

China FO Domestic prices are of bunker use grade.

©FOB MIDDLE EAST CARGOES (Naphtha and HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)

				-Premium-
Naphtha	-	485.00-	485.50 -	16.00/ 23.00
Kerosene	-	63.50-	63.60 -	1.90/ 2.10
Gasoil 0.05%S	+	63.40-	63.50 +	1.70/ 1.90
FO 180cst 3.5%S	-	302.50-	303.50 -	

©FOB INDONESIA MIXED/CRACKED LSWR CARGOES (in \$/bbl)

				-Physical-	-Premium-
LSWR 0.35%S	-	50.20-50.30 -			-0.50/ 0.50*
Expected PPF	-	50.20-50.30 -			

*Premium to Pertamina Pricing Formula

©CFR JAPAN MR CARGOES (Naphtha and HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)

-Yen/kl- -Premium-

Naphtha	-	509.00-	514.00 -	43,310	10.00/ 12.00
May 2nd-half	-	520.00-	520.50 -		
Jun 1st-half	-	513.50-	514.00 -		
Jun 2nd-half	-	509.00-	509.50 -		
Jet/Kerosene	-	69.00-	69.10 -	52,536	1.50/ 1.60
Gasoil 0.001%S	-	70.75-	70.85 -	53,867	2.25/ 2.35
LSWR 0.2%S	+	59.20-	59.30 +	45,080	8.50/ 9.50*
FO 380cst 3.5%S	-	320.50-	321.50 -	37,275	14.00/ 15.00
LSFO 0.3%S	-	392.00-	397.00 -	45,810	75.00/ 80.00**
FO M100 (RUSSIA)	-	386.00-	387.00 -	44,881	69.00/ 70.00

--Exchange rate (TTS Yen/\$ as of Apr 01) 120.96

(Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ)

*Premium to Pertamina Pricing Formula

**Premium in density at 0.95

◎FOB JAPAN MR CARGOES (HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)

			-Yen/kl-*	-Premium-
Jet/Kerosene	-	66.75- 66.85 -	50,404	-0.75/ -0.65
Gasoil CARB DIESEL	-	68.80- 68.90 -	51,951	0.30/ 0.40
Gasoil 0.001%S	-	68.50- 68.60 -	51,724	0.00/ 0.10
FO 380cst 3.5%S	-	304.50-307.50 -	35,790	-2.00/ 1.00

--Exchange rate (TTM Yen/\$ as of Apr 01) 119.96

(Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ)

*Yen/kl prices exclude Yen 2,540/kl refund.

◎ASIA BUNKER PRICES (\$/mt)

	180cst	280cst	380cst	MGO
Japan*				
Tokyo Bay*	-389.00-392.00--	387.00-390.00--	380.00-383.00--	580.00- 590.00 **
West Japan*	-395.00-398.00--	393.00-396.00--	385.00-388.00--	580.00- 590.00 **
Ise Bay*	-392.00-395.00--	390.00-393.00--	382.00-385.00--	580.00- 590.00 **
#Rim Average-Apr	390.50	388.50	381.50	590.00 **
S. Korea*	-353.00-356.00--	345.00-348.00--	331.00-334.00--	535.00- 545.00--
Taiwan*	-370.00-370.00--		-360.00-360.00--	688.00- 688.00--
China*				
Dalian	-385.00-388.00--	-	-	715.00- 725.00
Shanghai	-375.00-378.00--	-	-330.00-333.00--	705.00- 715.00
Qingdao	-385.00-388.00--	-	-340.00-343.00--	715.00- 725.00
Hong Kong*	330.00-333.00	327.00-330.00	318.00-321.00	540.00- 550.00
Singapore*	-321.00-323.00--	316.00-317.00--	308.00-311.00--	530.00- 540.00
Bangkok*	370.00-372.00	-	360.00-362.00	590.00- 600.00

--Note: *Delivered, **MDO,

#Rim Tokyo Bay average

◎アジア石油製品・マーケットコメント
○原油概況

1日の主要原油の価格は次の通り。

* NYMEX・WTI 5月：47.17ドル（前日比0.43ドル安）

* ICE・BRENT 5月：54.82ドル（前日比0.29ドル安）

* DUBAI・PAPER 4月：53.60ドル（前日比0.35ドル安）

○ガソリン：

北東アジア積みガソリン（MR船型）の市況連動相場は、前日から同値で推移した。韓国積み92RONガソリン（ブレンディング用）は、シンガポール市況（92RON）に対し30～50セントのプレミアム。台湾積み93RONガソリンも同市況対比1.00～1.20ドルのプレミアムを維持した。5月積みのスポット商談が徐々に

始まっている。台湾フォルモサ石油化学 (FPCC) が1日、5月末積みの93RONガソリンMR船型1カーゴをスポット販売した。価格はFOBベースで同市況に対し50セントのプレミアム。シンガポールのガソリン指標価格では、5月と6月の格差が60セントの期先安に推移しているため、今回の5月末積みは足元の市況より割安に取引されたようだ。5月中旬積み93RONガソリンの目先の成約価格について、トレーダー筋は1.00ドル近辺のプレミアム水準とみている。FPCCは今回販売したカーゴで、5月積みのスポット販売は一段落。この他、一部韓国筋にスポット販売余力がありそうだが、まだ取引の情報は伝えられていない。また、最大輸入国であるインドネシアの5月分の輸入量についてめどが付かず、トレーダー筋の動きは活発ではない。

シンガポール積み92RONガソリンの固定価格相場は67.00~67.10ドルと、前日から60セント下落。原油安を受けた。市況連動相場は92RONガソリンの固定相場に対し60~70セントのプレミアムと、前日から20セント下落した。

最新の成約は次の通り

- * 4月16~20日・シンガポール積み92RON・5万バレル、ガンボー→BP、67.00ドル
- * 4月16~20日・シンガポール積み92RON・5万バレル、ビートル→BP、67.00ドル
- * 4月16~20日・シンガポール積み95RON・5万バレル、SK→シェル、70.00ドル

○ナフサ:

アジアのオープンスペック・ナフサの固定価格は509~514ドルと前日比13.25ドル続落した。原油市況安を受けた。市況連動相場によるフィジカルの取引価格(プレミアム)は、アジア大手石化によるスポット買いが相次いでおり堅調地合いが続いている。

フィジカルのスポット取引では日本の大手石化が5月後半着対象にオープンスペックグレードナフサを購入したもよう。価格はカーゴ到着の45日前の評価をベースにした日本市況リンクと伝えられるが、詳細は明らかでない。

インドのマングロール石油精製化学 (MRPL) が3月31日に実施した4月26~28日ニューマングロール出しナフサ5万5,000トンの販売入札は、落札価格が中東市況に対し33.5~34ドルのプレミアムとなった。ペトロチャイナが落札したもよう。MRPLの前のナフサ販売入札は3月11日に4月9~11日積み5万5,000トンを対象に行われ、出光興産が中東市況対比28.5ドルのプレミアムで落札していた。MRPLは4月前半に同社製油所(カルナータカ州マングロール、日量約30万バレル)で3基ある常圧蒸留装置(トッパー)のうち1基(同12万バレル)を補修点検のため停止する。期間は10~12日。MRPLは同時にハイドロクラッカー1基も整備点検のため停止する。

石化装置関連では東ソーのナフサクラッカー(四日市、エチレン年産52万7,000トン)が50%程度まで稼働率を落としているもよう。3月20日から小規模の定期修理を実施しているという。同定修は4月2日に終了する。「分解炉内の清掃(リサイクリング)が行われている」(シントレーダー)もようだ。この他、市況関係者によると、出光興産は同社千葉のナフサクラッカー(エチレン年産37万4,000トン)を4月前半に定修のため停止する見通し。当初は定修開始が3月と見られていた。定修期間は約40日といわれる。

石油連盟の統計によると、3月22~28日のナフサ生産は34万6,983klと前週から3.4%(1万1,515kl)増加した。前年の同じ時期に比べると14.8%減となる。在庫は前週比4.1%(7万878kl)減の165万27klとなった。前年の同じ時期に比べても9.0%少ない。製油所の原油処理量は369万1,690klと前週から1.6%増加した。前年の同じ時期に比べると6.2%減。

経済産業省の石油統計速報によると、日本の2月のナフサ生産は182万103klとなり前年同月比4.2%増加した。前月比では5.0%の減少となる。輸入は200万952klとなった。前年同月比5.1%、前月比15.6%それぞれ減少した。販売は前年同月比1.6%増の397万2,511klとなった。前月比では3.2%減。月末在庫は169万2,332klとなり前年同月比33.3%の増加となった。前月比では11.7%減少した。

指標となるインターコンチネンタル取引所 (ICE) の北海ブレント原油相場は6月物がアジア時刻時間で前日比18セント安の56.17ドルに続落した。オープンスペック・ナフサ相場は5月後半着が520~520.5ドル、6月前半着が513.5~514ドル、6月後半着が509~509.5ドルとなった。アウトライイト取引は6月前半着対象で買いが510ドル、売りが516ドルとなった。

タイミング・スプレッドの相場は前日と変わらず、5月後半/6月後半スプレッドが11ドルのバックワーデーションとなった。ナフサ価格とブレント原油価格とのクラックスプレッドは6月ブレント/6月前半ナフサがトン当たり92ドルのナフサ高と、前日から7ドル縮小した。

北西ヨーロッパ(NWE)のナフサ・スワップ相場はアジアタ刻時間で、4月が前日比7.5ドル安の486.5～488.5ドルに続落した。5月と6月の価格はそれぞれ478.5～480.5ドル、474.5～476.5ドルとなった。アジア/NWEのナフサ・スプレッドは6月前半アジア/5月NWEが34ドルのアジア高となった。前日から2ドル縮小した。

○ジェット燃料/灯油:

北東アジア積みジェット燃料油(MR船型)の市況連動相場は、これまでの相場に対する割安感から、強含んだ。日本積みは、シンガポール市況に対し65～75セントのディスカウントと、前日から10セント上昇した。韓国積みは同市況対比50～60セントのディスカウントと、同10セント高。4月後半積みで一部売り手の追加販売により下落していた市況が、5月積みの取引に移行しやや戻している格好だ。ただ、需給の緩みは変わらず、相場の地合いは弱いまま。製油所の定修明けを背景に、供給は増加する傾向にある。一方、アービトラージが閉じ、仕向け先が限られている様子だ。中国航油(CAO)は3月31日、入札を通じて5月分のジェット燃料油を調達した。購入予定量はMR船型5カーゴだった。このうち、5月韓国積みが一部落札されたとの情報がある。価格はFOBベースで同市況に対し50セント近辺のディスカウントで聞かれた。シンガポールの先物市場で5月と6月限の格差が60セント前後の期先高に推移しているため、5月後半積みは割高に取引される可能性があるなど、船積み時期によってプレミアム相場に格差が生じるとの指摘がある。

シンガポール積みジェット燃料油の固定価格相場は67.70～67.80ドルと、前日から30セント軟化。先物価格の値下がり連動した。4月きり先物価格は67.50ドルと、前日を30セント下回った。市況連動相場は先物市況に対し20～30セントのプレミアムと、前日から横ばい。

○軽油:

北東アジア積み0.001%S軽油(MR船型)の市況連動相場は前日から横ばい。韓国積みは、シンガポール市況に対し5～15セントのプレミアムとなった。市場関係者によると、中東国営石油会社が、4月末積み韓国品の販売に動いている。売値が同市況対比で50セントを超えるプレミアムとの情報が浮上したものの、「持ち込み先が豪州やシンガポールなどに限られるなかで、買い手の関心を引きつけられる水準ではない」(トレーダー)との声が複数聞かれた。一方、5月積みでMR船型1カーゴの北東アジア品が成約されたと伝えられたものの、詳細は不明。日本や韓国の石油各社はいまのところ様子見の気配が強く、来週以降に5月積みカーゴの商談を本格化させるとみられている。

中国華南着・0.001%S軽油(MR船型)の市況連動相場は、シンガポール市況(0.05%S)に対し1.95～2.05ドルのプレミアムと、前日から変わらず。華南地区の0.005%S軽油の国内価格(一次基地出し)はトンあたり5,050～5,100元と、前日から同値で推移した。

シンガポール積み0.05%S軽油の固定価格相場は68.10～68.20ドルと、前日から35セント下落。先物価格が値下がりしたうえ、ディスカウント幅の拡大が相場を一段と下押した。4月きり先物価格は68.50ドルと、前日を5セント下回った。市況連動相場は先物市況に対し30～40セントのディスカウントと、前日から30セント下落した。

最新の成約は次の通り

* 4月16～20日・シンガポール積み0.05%S・15万バレル、トタル→ビートル、シンガポール市況(4月15～21日平均)－40セント

○LSWR:

インドネシアのクラックドLSWRの固定価格は50.2～50.3ドルと前日比10セント続落した。プルタミナの価格フォーミュラ(PPF)推定値が原油市況連動で下落したことを受けた。PPF推定値は前日から10セント安の50.25ドルとなった。市況連動相場は前日と変わらず、PPFに対し50セントのディスカウント～50セントのプレミアムとなった。

相場の基調は底堅い。日本の低硫黄重油の在庫が昨年を下回る水準に縮小しており、同国の輸入がしばらく安定するとの見方が出ていることが背景。石連の週間統計によると、3月22～28日の低硫黄C重油の在庫は前週から13.3% (10万4,121kl) 減の67万7,395klとなった。前年の同じ時期に比べても0.2%少ない。生産は前週比46.9%減の2万1,466klとなった。前年の同じ時期に比べても88.4%の減少となった。

○重油:

日本着0.3%S重油 (MR船型) の市況連動相場は、シンガポール市況 (180cst) に対し75.00～80.00ドルのプレミアムと、前日からもち合った。日本の元売り1社は4月着0.3%S重油を計5カーゴ程度調達した。北海道や西日本に仕向けられる。今後、5月上旬着カーゴの取引が始まる。ただ、日本国内の気温が上昇しており、電力需要の端境期入りしていることから、現時点で調達に急ぐ様子は見られない。

中国華南着・3.5%S重油 (LR船型、シンガポール積み) の市況連動相場は、シンガポール市況 (380cst) に対し13.00～14.00ドルのプレミアムと、前日から横ばい。広東省・黄埔地区の重油価格はトンあたり3,100～3,150元と、前日からもち合った。この価格は輸入コストを623元 (バレルあたり101.43ドル) 下回る。

リム調べによると、1日時点で山東地域の主要な港タンク9カ所の原油および重油在庫は124万トンと、先週から22万トン減少した。タンク総容量の35.4%を占める。悪天候により、港に到着したタンカーの荷卸し作業が遅れている。タンカーの入港情報によると、4月では足元、計25万8,000トンの重油および原油が到着する見込みだ。3月には計256万8,000トン以上の原油および重油が到着した。内訳は、ベネズエラ産MERLEY原油13万トン、赤道ギニア産セイバ原油6万3,000トン、アンゴラ産カビンダ原油13万トンなど輸入原油計138万9,000トン、海洋原油39万トン、ベネズエラ産重油 (380cst) 38万トン、マレーシア積み重油23万5,000トン、ロシア産M100重油など輸入重油計78万9,000トン。一方、華東地域で最大級のオウサン港タンクの重油在庫は8万トンと、先週から8万トン減少した。全量が保税品在庫。週末にベネズエラ産重油が到着する予定のものの、数量は明らかではない。

シンガポール積み180cst重油の固定価格相場は316.50～317.50ドルと、前日から25セント弱含んだ。先物価格の値上がりを受けた。4月きり先物価格は317.00ドルと、前日を25セント下回った。市況連動相場は先物市況に対し50セントのディスカウント～50セントのプレミアムと、前日と同水準で推移した。

◎アジア・パンカー・マーケットコメント

○日本:

日本の380cst相場は京浜が380.00～383.00ドル、西日本が385.00～388.00ドルと、それぞれ前日から5.00ドル続落した。近隣港に比べ価格が割高に推移しているため、スポット市場に対応可能な売り手は唱えを下げているようだ。ただ、供給のタイト感はまだ拭き取られていないため、大ロットに対応できる売り手は限られる。需要は低調で小ロットの引合いが中心となっている。4月のパンカー重油月間平均推定値は、京浜の380cstが381.50ドルとなる。これは先月から11.91ドル安。

石油連盟の統計によると、3月28日時点の高硫黄C重油在庫は前週比2.2%減の1,251,475klとなった。前年比でも14.6%減。

○韓国:

韓国の380cst相場は331.00～334.00ドルと前日から3.00ドル続落した。シンガポール重油市況の下落を受けた。380cst売唱えは331.00～340.00ドルが聞かれた。一部売り手はデリバリーが6日以降の引合いのみ対応している。また、大ロットの引合いに対しては唱えを329.00ドルまで下げて対応可能とする売り手も見られた。西海岸の相場は南海岸より5.00～10.00ドル高。LSMGO価格は560.00～570.00ドル。

○シンガポール:

シンガポールの380cst相場は308.00～311.00ドルと前日から1.00ドル続落した。シンガポール重油カーゴ市況の下落を受けた。現地時間17時30分時点で、380cst売唱えは308.00～314.00ドルが聞かれた。EXワフ380cst相場は314.00～317.00ドルと同1.00ドル安。

◎マーケットニュース

○石連＝3月22～28日の全国トッパー実稼働率は89.6%、4週平均90.3%

石連がまとめた全国トッパー実稼働率を見ると、3月22～28日は89.6%で推移し、前週を0.3ポイント

下回った(図参照)。前年比では1.1ポイントのプラス。直近4週の実稼働率は90.3%で推移し、前年の89.5%を0.7ポイント上回った。実稼働能力とは、設計能力から事故や定期修理等の稼働停止分を除いたもので、足元では高稼働状態が続いている。

設計能力をベースとする稼働率は84.1%で、前週比1.3ポイント、前年比でも3.5ポイントのプラス。

トッパー設計能力は全国23製油所で本数33基、日量394万6,700バレル。内訳は、東日本が246万2,500バレル、西日本が148万4,200万バレルで変わりはない。

○出光興産＝4～6月の原油処理計画量、前年比11%減の550万klに設定

出光興産は30日、4～6月の原油処理量を前年比11%減の550万klに設定したと発表した。前年は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動を踏まえて前年並みの水準を見込んだもの。同期間には千葉製油所の定期修理を予定していることも踏まえている。定修中は在庫や輸入、市中調達を活用し、安定供給を進める方針だ。

一方、1～3月の原油処理量は726万klを見込んでおり、当初計画の723万klを3万kl上回るようだ。

○昭和シェル石油＝4～6月の内需向け原油処理量、前年比3%減に設定

昭和シェル石油は1日、4～6月の内需向け原油処理量を前年比3%減の658.5万klに設定したと発表した。グループ4製油所で需要動向に対応しながら、適正在庫を維持する方針だ。

一方、海外向け原油処理量は海外製品市況動向を踏まえて適宜決定する。

○インド政府、1日から有効の産業向け天然ガスの国内卸価格を提示

インド政府は、国産ガスおよび輸入LNGを気化した天然ガス(RLNG)の価格をひとつにまとめ、すべての需要家に新しい卸価格を提示した。統一された新価格は百万Btuあたり4.66ドルと過去6ヵ月間に適用されていた価格から39セント安に設定され、本日1日から有効となる。この価格は9月中に見直しされ、10月1日から6ヵ月間に適用される新価格が決定される見通し。特に化学肥料系の需要家向けにはこれまで、あらゆる価格体系が適用されていたため政府の悩みの種だったが、これらの需要家は新価格体系の恩恵を受けそうだ。これにより、各需要家で燃料コストのばらつきも解消されることとなる。さらに新価格体系の下、クリシュナゴダバリ(KG)海上ガス田からの生産が長期に亘って細るなかで、工業需要家によるRLNGの引き取り増が期待されている。

◇

アジア石油製品レポートの転送は著作権により強く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、法的手段を講じたうえで、罰金を請求します。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

Rim URL: www.rim-intelligence.co.jp

—EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo—Tel: (81) 3-3552-2411 Fax: (81) 3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore—Tel (65) 6345-9894 Beijing—Tel (86) 10-8527-1630 Fax (86) 10-6428-1725 Shanghai—Tel (86) 21-5111-3575 Fax (86) 21-5111-3576 India—Tel: (91) 98795-50717

Rim Asia Products Intelligence Daily is a copyrighted publication. No portion of this publication may be photocopied, reproduced, retransmitted, put into a computer system or otherwise redistributed without prior written authorization from RIM INTELLIGENCE CO.